



World Vision

この子を救う。未来を救う。



ネパール連邦民主共和国 バジャン地域開発プログラムのご紹介 (NPL-213444)

チャイルド・スポンサーシップは、1人の子どもを対象にしたお金や物の提供ではありません。支援地域の人々が子どもの健やかな成長のために必要な環境を整えられるよう、チャイルドが住む地域を支援するプログラムです。チャイルドが住む地域と、現地でワールド・ビジョンが実施しているプログラムについてご紹介します。

地域の課題



地域の様子



教育

- 学校に継続して通えていない子どもが多い
- 学校の水・衛生施設の未整備



子どもの権利と保護

- 地域に子どもを保護する仕組みがない
- 若者のライフ・スキル*の低下

(*問題解決、対人関係、計画性など、生きていく上で必要な知識・技術)



地域の子どもたち

ネパール連邦民主共和国

インドと中国のチベット自治区に接する内陸国で、ヒマラヤ登山の玄関口として有名です。様々な民族が暮らす多民族国家で、民族とカーストが複雑に絡み合っています。公用語はネパール語ですが、各民族の言語も使われています。宗教はヒンドゥー教が主流ですが、仏教徒やイスラム教徒も暮らしています。教育制度は、初等教育（8年）、中等教育（4年、2-2年）、高等教育（3年～）で、義務教育は初等教育の8年間です。

●首都：カトマンズ

バジャン地域開発プログラム

地域情報

バジャン 地域開発プログラム

支援期間：2019年～2031年

*支援期間はプログラム準備期間を含みます。支援終了予定日や活動の目標は、予期しない突発事項やプログラムの進捗状況により、変更される場合があります。

首都カトマンズから西へ約450kmの場所に位置する、ネパール西端のストゥパシュチム・プラデーシュ州バジャン郡にてプログラムを実施しています。標高1,000～3,000mの丘陵地に位置しています。ヒンドゥー教徒が多く、4人に1人がカーストの最底辺に位置づけられるダリットの人たちです。多くの住民が農業と日雇いで生計を立てていますが、十分な食物・収入が得られないため、ほとんどの男性は季節労働者としてインドへ出稼ぎに出ています。父親が不在で母親も家事や仕事に追われているため、子どもたちも手伝いのために学校を休みがちになっています。また、地域の半数以上の女性が読み書きができません。

地域の課題



教育

地域では、学習に必要な教材や環境が不足していて、教師の指導力も不十分です。学校運営を支える行政からの支援も少なく、多くの子どもたちは小学生から継続して学校に通えていません。また、中等教育に進学する子どもも非常に限られています。特にダリットの子どもは、保護者の教育に対する意識も低いため、さらに教育を受けにくい状況になっています。



子どもの権利と保護

子どもや女性の権利と保護に対する認識が低く、出産・月経中の女性を日常生活から隔離するチャウパディ慣習が根強く行われ、ほとんどの女性が身体的、心理的または性的な暴力を受けています。若くして結婚する子どもたちも多く、短い就学年数や早すぎる出産は家計や母子の健康状態等にも影響をおよぼしています。

ワールド・ビジョンが行う支援活動

- 行政や教師、地域を巻き込んだ就学状況の改善に向けた啓発
- 学校の学習環境の改善
- 家庭での学習環境の改善
- 子どもへの体罰禁止の啓発



地域の学校の様子



家庭に電気やガスが通って
おらず、家庭学習ができない
子どもたちが数多くいます



地域の女性たち



子どもの権利を守るという考
えがなく、4歳の子どもがお母
さんの手伝いをしています

支援はチャイルドの生活を変える力となります



9歳のハリスくん（右から2番目）には2人の兄弟がいます。妹が生まれたときにハリスくんのお父さんは亡くなり、お母さんも家を出ていってしまいました。それ以来、おばあさんがハリスくんたちを育てています。また、障がいを持つおじさんとも一緒に暮らしています。

おばあさんは日雇いの仕事をしていますがそれでは家計が苦しいため、ハリスくんも日雇いの仕事や家畜の世話を手伝って家計を支えています。

ワールド・ビジョンは、ハリスくんのような子どもたちが、希望を持って成長できるよう、支援活動を行っています。

マイ ワールド・ビジョンに登録しませんか？

登録（アカウント作成）後ログインしていただくと、チャイルドと支援地域の写真や情報がご覧いただけます。

ホームページトップの「**支援者の皆さまへ**」に進み、「**アカウント作成**」のボタンから、手続きをしていただけます。申請後、5営業日以降、情報をご確認いただけます。

また、右のQRコードからメールアドレスをご登録いただければ、チャイルドや支援地域からの最新動画、イベント情報などもお届けします。



公式SNSでは、世界の子どもたちをとりまく情報を発信しています。
ぜひ「いいね！」や「シェア」をして、お友だちにご紹介ください。

 **FACEBOOK**
@worldvisionjapan

 **Instagram**
@worldvisionjapan

 **Twitter**
@WorldVisionJPN